



OKINAWA

ぬちぐすい

(社) 沖縄県作業療法士会ニュース 2011年7月 発行

「ぬちぐすい」は、沖縄県の作業療法士のみなさまのいのちのくすり（元気の素）になってほしいという願いです。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 … 巻頭言 | 4 … 第45回日本作業療法学会に参加して |
| 2 … お礼「協会理事に当選しました！」 | … 交流会のお知らせ |
| … 平成23年度前期総会報告 | … 事業部からのお知らせとお願い |
| 3 … 公益法人制度改革の概要と | 6 … 研究会便り |
| … 県士会の対応について（第4弾） | 7 … 第9回沖縄県作業療法学会について |
| … 新入会員オリエンテーション報告 | … 作業療法士リレーエッセイ |
| | … お知らせ |

巻頭言

(社) 沖縄県作業療法士会 会長 比嘉 靖 (県立精和病院)

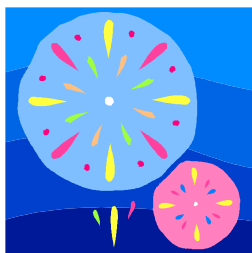
会員の皆さんこんにちは。夏も本番を迎え早々とバテ気味という方もいるのでは？

沖縄らしい季節の到来とも言えますね。木々や家並みが自ら色を発しているかのようで眩しいくらいです。

先月は埼玉県にて行われた社団法人日本作業療法士協会の総会に参加しました。今回の理事改選では昨年度まで沖縄県士会の副会長であった宇田薫さんが立候補し、みごと上位選出にて理事に承認されました。沖縄県士会から初めての理事選出です。今後も沖縄と協会との架け橋としてご活躍されることを期待しております。

また、協会は公益社団法人への足掛かりとして、一般社団法人の手続きを進めることをすでに表明していましたが、今回の総会では会運営の方法を変え代議員制の導入を決定しました。現在の会人口から計算（会員300名から代議員1人）すると沖縄県は2名の代議員を選出することになります。

会員の数も多くなると会運営の方法にもいろいろ工夫が必要になります。我々沖縄県士会も総会への出席者が増えないことや、離島や北部地域への会員支援など課題も多く、会員の皆さんの総意を少しでも反映できるシステム作りをしていかねばなりません。今後の会運営について良いアイデアがあればどしどしお寄せ下さいね。



比嘉 靖 (higa_yasushi_ot@yahoo.co.jp)

御礼「協会理事に当選しました！」 宇田 薫さん (大浜第一病院 訪問リハビリセンター あめくの社)



この度、日本作業療法士協会（以下、OT協会）の理事選挙において、理事に当選しましたことを報告させていただくと同時に、応援して下さいました沖縄県作業療法士会（以下、県士会）の会員の皆様に心より感謝いたします。ありがとうございます。沖縄に来て4年半が経ちましたが、まだまだ直接お会いしたり、お話したことがない会員の方も多いい中の皆様の応援は本当に心強く思いました。

今年度から県士会の副会長は降りさせて頂くこととなりますが、OT協会主催の研修会（特に認定作業療法取得講座）・広報活動・県士会の講師など、県士会の活動も可能な範囲で継続していきたいと思っております。今後、OT協会の活動が増えていきますが、活動の基本は現場の会員の生の声が一番大事だと思っていますので、皆様から直接聞かせていただくご意見・悩みなどは、私にとって貴重なものとなっています。特に沖縄は離島（へき地）としての問題・高齢化社会・共稼ぎ率の多さ（働く女性の多さ）など、内地の会員が（今後）抱える問題の数年先を歩んでいると思っておりますので、沖縄からの発信は非常に重要になっていくと考えています。

先日の初理事会において渉外担当の任務がこの度、与えられましたが、選挙時に述べました「訪問リハの普及」「女性会員が働きやすい職場作り」も常に意識して理事活動を行っていきたくと考えています。若い会員の皆様には、まだまだ協会の活動が分かりにくいかもしれませんが、「会員と近い距離の理事」を心がけたいと思っておりますので、協会のことに関して、分からないことや、その他ご意見がございましたら、直接、宇田までご連絡いただけると幸いです（直接職場にお電話下さい）。全国の理事ではありますが、沖縄にとってもプラスになるよう意識して参ります。

今後とも、ご支援・ご協力のほど、よろしく願いいたします。

社団法人沖縄県作業療法士会 平成23年度前期総会 報告

事務局長 久貝 明人

開催日時：平成23年6月11日 19時00分～20時30分

開催場所：沖縄県総合福祉センター 401号室

出席会員数：442名（本人出席：28名、委任状出席：358名） 会員総数：615名

議長：三枝秀平氏（オリブ山病院） 書記：又吉可奈子氏、米山恵利加氏（オリブ山病院）

議事録署名人：吉岡美和氏、崎原幸枝氏（沖縄リハビリテーション福祉学院）

第1号議案 平成22年度事業報告の件

平成23年度前期総会議案書に基づき、平成22年度事業報告⇒承認。

第2号議案 平成22年度決算報告の件

平成22年度決算報告書に基づき、平成22年度決算について報告⇒承認。

第3号議案 平成23年度補正予算の件

平成23年度補正予算報告書に基づき、平成23年度補正予算について報告⇒承認。

その他 法人移行に関して

比嘉靖氏より、公益法人移行にむけた進捗状況を報告⇒承認。



公益法人制度改革の概要と県士会の対応について (第4弾)

(社) 沖縄県作業療法士会
会長 比嘉 靖

【法人移行手続きに関する理事会意向について】

今回の制度移行により、我々は『公益社団法人』と『一般社団法人』のどちらかを選択しなくてはなりません。

『公益社団法人』を選んだ場合、県民からの社会的信頼獲得とともに行政からの公的事業の依頼も得やすくなります。また、寄付金優遇税制の適用などもあり、収益事業が好調な法人ほどメリットが高いと考えられています。

ただし、我々のような小規模法人団体では多くの機関設置が義務付けられるため、法人維持コストが増加することも予測されます。なにより優遇措置を受けるにはそれなりの詳細な管理義務を背負うこととなりますが、現在の事務機能についてはそれに対応できるだけの整備がなされておりません。その点、自由な事業展開を考えられ、しかも行政庁への報告作業が煩雑でない『一般社団法人』であれば、現行体制を維持したまま、移行できるメリットがあると考えております。もちろん、必要な行政庁からの監督を引き続き受けるため、公正な団体運用という点で確保されます。沖縄県民への作業療法啓蒙や会員育成などの目的を変えずに今後も法人としての大義を失うことはありません。

よって理事会としては議論を重ね『一般社団法人』への移行を選択しました。

【今後の予定】

理事会決定の方向性については説明会などの開催を通して会員の理解を得たいと考えております。また移行に必要な新定款案は8月中には県士会ホームページへ掲載を予定しており、細かく見てもらい会員からの率直な意見をいただきたいと思っております。

すべての準備を整えた上で、年内の臨時総会の開催を計画しております。その場で改めて一般社団法人への移行について承認を受けることで調整しております。

議論を重ね、会員一人一人が意識を持って高い目標をもった団体をつくっていきましょう。

新入会員オリエンテーション報告

事務局長 久貝明人 福利部長 桑江良貴

7月9日(土)に、沖縄県総合福祉センター(第7会議室)において、「平成23年度 社団法人沖縄県作業療法士会 新入会オリエンテーション」が行われました。

会場には33名の新入会員が集まり、県士会や研究会の現状や取り組み等、メモを取りながら熱心に聞いている姿が印象的でした。歓迎懇親会では、役員・運営委員、研究会代表者を含め45名が参加し、オードブルでの軽食を取りながら、スライドにてOTフェアや講習会といった県士会活動や県学会をはじめ、その他学会の紹介等を行いました。また、新入会の方々には、施設ごとに自己紹介をして頂き、マイクを握り堂々と話す新入会の方々の姿に感動しながら、今後の県士会と一緒に盛上げていくパワーを感じることができた賑やかな会となりました。



第45回 日本作業療法学会に参加して

上江洲聖さん(日赤那覇市安謝福祉複合施設)

先日、4,500人以上が来場したOT学会に参加しました。学会のテーマは「意味のある作業の実現」で、テーマに関連した講演、シンポジウムや発表が多くを占めていました。沖縄県OT会員からは6演題の発表があり、共同演者も含めると10名以上が演者として参加しました。そのうち4演題が作業選択意思決定支援ソフト(ADOC)に関連した発表でしたが、常に行列が絶えず1演題につき2~3名体制で応答しても発表時間枠を2倍超えるほどの大盛況でした。沖縄のOTはスゴいと声を多く頂き、沖縄のOTは全員スゴいですよ、何度も答えました。

今回、震災や人災のために未だ心落ち着かない土地で、OTとして働く友人らと共同演題をいくつか発表しました。私たちが学びを深め、新しいことを発見して伝えることは、長期的視点に立てば1つの復興支援になるかもしれません。自分のため、仲間のため、クライアントのため、来年はみんなで開催しましょ。



(2011.6.24-26 in
埼玉県大宮市)

交流会のお知らせ

《バーベキュー交流会 in 名護市 21世紀の森ビーチ》

夏だ！海だ！バーベキューだ！沖縄県作業療法士会の皆さん！集まれー！！

2011 OT Summer Vacation in 名護21世紀ビーチ

日頃の疲れを青い空と海を見ながら、おいしいバーベキューと冷たいビールを飲みながら楽しく過ごして解消しませんか？ ゲームで楽しんだり、同窓会みたいにゆんたくしたり、もちろん県士会からのお知らせなども紹介いたします。特に北部地区の皆様はこの機会に是非ご参加下さい。もちろん中南部の皆様もドライブついでにご参加下さい。ご家族での参加もOKです。

と き：平成23年8月7日(日) 12:00~15:00

場 所：名護市21世紀の森ビーチ(陸上競技場/野球場裏手)

参加費：お一人様500円

*駐車場に限りがございます。乗り合いのご協力宜しくお願い致します。



事業部からお知らせとお願い

毎年開催しているOTフェアを、今年も9月に行います。今年のテーマは「**知ってください作業療法 ~楽しいは人を元気にするんです~**」です。来場された方々に作業療法を知っていただくだけでなく、「楽しかった!」「来て良かった」と思ってもらえるよう、事業部員みんなで楽しみながら開催できるよう考えています。ぜひ、お時間ある方は当日会場まで足をお運びください。

また事業部では、当日会場で一緒に運営に携わってくださる会員の方を募集しています。1日でなく半日、2時間だけという方も大歓迎です。私たち事業部員と一緒に楽しみながら作業療法を紹介しませんか? 興味のある方、ご協力いただける方は、下記連絡先へご連絡ください。お待ちしております。

OTフェア 開催日時：平成23年9月25日(日) 9:00~18:00
会 場：サンエー西原シティ1F

お問い合わせ 事業部担当理事 波多野 晶子 (琉球リハビリテーション学院)
TEL: 098-983-2130 E-mail: hatano-a@ryukyu.ac.jp
事業部長 喜田 浩司 (ごきげんリハビリクリニック)
TEL: 098-933-5515 E-mail: kidagokigen@yahoo.co.jp

研究会便り



「この勉強会は、何が起こるか分からないんです!？」

～地域連携リハビリテーション研究会のご紹介～

医療法人 葵会 ごきげんリハビリクリニック

訪問リハビリテーション 喜田 浩司

皆様、もうすでにご存知の方も大勢いらっしゃると思います。もしかしてお手にとってすでに読んでいただいた方もいるかもしれません。さる5月の穏やかな土曜日、一冊の本が全国の書店のリハ関連コーナーやネット販売のホームページ上に並びました。本のタイトルは「失敗に学ぶ。訪問リハビリ裏御法度！」

実はこの本、昨年「沖縄県訪問リハビリテーション研究会」で行った、ある日の勉強会がきっかけで、県内の訪問リハに携わるセラピストみんなで作った本なのです。

現在、「沖縄県訪問リハビリテーション研究会」は「沖縄県 PT 士会の訪問リハ推進部」と「沖縄県 ST 士会訪問リハビリ委員会」、そして「沖縄県 OT 士会の地域連携リハビリテーション研究会」が合同で企画、運営しています。

すでに研究会の世話役の段階から OT、PT、ST が連携して会を運営しているという、全国でも珍しい運営形態をとっています。

利用者様、患者様が病気になって入院し、そして退院後住み慣れた地域で生活していく。または施設に入所され、そこでの生活を展開させていく。それを作業療法で応援したい。地域連携リハ研究会は、訪問リハを行っている OT だけでなく、様々な分野で働く OT が知り合い、つながりながら「生活を支える作業療法」を勉強していく、そんな仲間作りを目指しています。もちろん他職種との連携を深めていくことも考えています。

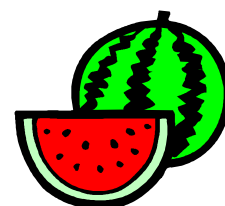
勉強会を企画するにあたり、大切にしていることは ①明日から使える技術・知識・視点であること。②勉強会終了後、参加された方に何を吸収し、持ち帰っていただくかをきちんと考えて実行することです。

決められたテーマをただ皆で学ぶだけでなく、参加された方それぞれの出会いや感じ方で持ち帰っていただくものが変わるライブ感。「あー、面白しろかった。参加して良かった!」と思っただけのほず。

是非一度勉強会に参加していただき、一緒に悩みを共有し、仲間を作り、勉強会を楽しんでみませんか? 会場でお会いできることを楽しみにしています。



ある日の勉強会風景



第9回沖縄県作業療法学会について(第2報) 学会長 田原行英(琉球リハビリテーション学院)

「明日への懸け橋」～それぞれの物語を未来へ～
「明日への懸け橋」～それぞれの物語を未来へ～

【会 期】平成23年11月13日(日)

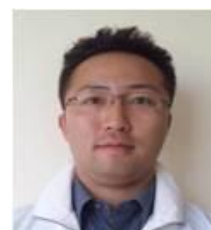
【会 場】浦添市 てだこホール

【特別講演】『人間作業モデルについて』

山田 孝 氏 首都大学東京作業療法学科教授 日本作業行動学会会長

会場、特別講演が
決定致しました!

ジメジメした梅雨も明けて夏も本番になってまいりました。学会運営委員も11月に向けて汗をぬぐい、いろいろな案を出し合いながら頑張っています。その中でいろいろな事が決定してきています。まず、今回の学会会場は浦添にある「てだこホール」に決定しました。とてもきれいで広々としたホールです。また、特別講演では首都大学東京作業療法学科教授で日本作業行動学会会長の山田孝先生をお迎えして人間作業モデルについて講演していただく予定になっています。理論は難しいと考えている方は多いと思いますが、この機会に触れてみてください。そして最後に、先日演題募集を締め切り、皆さまから多くの応募を頂きました。これから抄録募集および査読が始まりますが、今からどのような発表がなされるのか本当に楽しみです。



さて、話は変わり今年で9回目を迎える県学会ですが、私が作業療法士として沖縄で働き始めた年に沖縄県作業療法学会と名称が変わりました。昨年度は九州PT・OT合同学会運営のため県学会が開催されず、今年で9回目の学会になります。私が新人だった頃に学会で発表をさせていただいたとき、周りの風景がちゃんと見えないぐらい緊張と不安でガチガチでした。しかし、多くのセラピストの方からご意見をいただき、終わった時には疲れましたが、「良かった～」という次につながる気持ちも湧いてきたのを覚えています。発表した側はもちろんの事、聞いたり、質問する側にも色々なメリットがあるのが学会の良いところです。学会テーマでもある「明日への懸け橋」～それぞれの物語を未来へ～とある通り、自分が行った成果や失敗を多くのセラピストと共有し、研鑽していく事によってセラピストとしての幅が広がり、その広がりが多くのクライアントの未来をつなげていけるような良循環を生み出せればと思っています。学会まで約3ヵ月半となりましたがホームページで色々な情報をアップしていきますので、そちらも閲覧してみてください。宜しくお願いします。

第9回沖縄県作業療法学会 公式ホームページ

<https://sites.google.com/site/9thokinawaot/>

作業療法士リレーエッセイ

沖縄県の作業療法士を紹介します。第3回は 福地弘文さん(ちゅうざん病院)です。

作業療法士になり、4年目となります。ちゅうざん病院は回復期専門で、特徴としては各階病棟内にリハビリを行えるスペースを設けており、患者様のADLに直接的に介入することができ、また、家族や病棟スタッフと意見、情報交換がしやすい環境にあることが挙げられます。その他、外来リハや通所リハ、訪問リハを設けており、入院から退院後の生活まで介入できる環境が整っています。回復期病院に働くにあたって、患者様のニーズに応えることや自宅復帰に繋げるために必要な機能・能力の向上、サービス・環境設定の検討など、必要な要素が非常に多く、常に悩み模索しながら日々の業務にあたっています。しかし、笑顔で退院されていく患者や家族の笑顔を見るたびに、この仕事をして良かったと感じます。その反面、もっともっとできることがあったのではないかと感じる現状もあり、今後、入院生活はもちろんのこと、退院後の生活にもっと焦点を当て、回復期でできる更なる関わりを追求していきたいと思っています。OTとして「専門的な知識、技術を駆使しながら、その人一人一人が、その人なりの幸せを感じ、その人らしい生活が送れるようサポートする」を目標に、今後も悩み勉強しながら患者様とともに歩み、成長していきたいと思っています。



福地さんからのバトンは誰の手に！？ 次回をお楽しみに！

日本作業療法士協会の年会費、納入しましたか？

土田真也(教育部担当理事)

今年度から日本作業療法士協会の会費納入のルールが変更になり、**会費1年分未納で強制退会**となります。

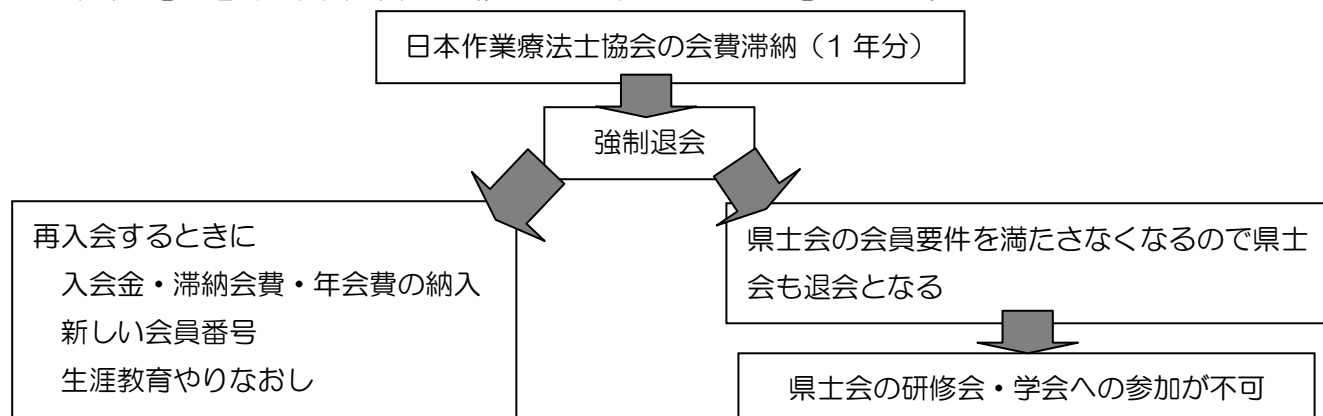
この場合、正規に退会届を出した退会と異なり、**過去の会員歴がすべて抹消**されることになっています。再入会の際は、理事会で入会審査があり、未納会費・入会金・当該年度の年会費が徴収され、新しい会員番号がつけられます。生涯教育制度の受講歴も白紙に戻され、現職者共通研修・選択研修の受講、生涯教育基礎ポイントもやり直しになります。

また、このことは県士会とも関係があり、沖縄県作業療法士会の正会員になるためには日本作業療法士協会の正会員であることが条件なのです(沖縄県作業療法士会定款)。各地方における作業療法の普及・発展を図るため、「日本作業療法士協会の正会員」が都道府県ごとに構成しているのが都道府県の作業療法士会です(日本作業療法士協会定款施行規則)。つまり、日本作業療法士協会を退会(任意・強制的いずれでも)すると、沖縄県作業療法士会の会員でもいられなくなります。

県士会主催の研修会への参加条件は沖縄県作業療法士会の会員であることを条件にしています。

県の作業療法学会については従来、「非会員」という窓口を用意していましたが、今後、非会員の作業療法士については参加を認めない方向で話を進めています。

くれぐれも、不注意で退会となり、不利益を被ることがないようにご注意ください。



財務部よりお知らせ

沖縄県作業療法士会では、学術技能の向上を目的に学会や研修会・講演会の開催や、学術誌の発行などを行っております。これらの運営は、みなさまからの会費によって成り立っております。また、参加の際には会費納入が条件として挙げられていることから、未払いによる不利益が生じる場合があります。個人、または全会員に対し意義ある県士会としての円滑な運営がなされるためにもみなさまのご協力が必要です。会費納入にご協力頂けるよう、宜しくお願いいたします。

振込先 ; 琉球銀行 宜野湾支店
口座番号 ; 493549
口座名 ; 沖縄県作業療法士会
年会費 ; 7,000 円 (振込に関わる手数料は各自ご負担ください)

- ※ 未納がある場合は納入額が変わります。
- ※ 新入会の方は、事務局への入会手続き終了後のお振込みをお願いいたします。
- ※ 改姓の場合も同様に事務局への変更手続きをされるようお願いいたします。
- ※ 振込み名は会員名でお願いいたします (振込み名が異なる場合は FAX にてその旨をご連絡下さい)。
- ※ 納入額が不明の際には下記までご連絡ください。
(スムーズな対応のためになるべく FAX のご利用をお願いいたします)

財務部 比嘉孝子 (いずみ病院 リハビリテーション部)
TEL (098) 972-7788
FAX (098) 972-7319

広報部よりお知らせ

(社) 沖縄県作業療法士会のホームページ <http://www.okinawa-ot.net/>

研修会案内のニュース・WEB サイト掲載

(社) 沖縄県作業療法士会ニュースおよび沖縄県作業療法士会 WEB サイトに研修会案内などの掲載を希望する場合は、記事原稿を添付し、広報部 E-mail まで送信ください。尚、記事のフォント・掲載形式は広報部編集担当が調整致します。

- ※ ニュースの原稿は発行前月 15 日までにお送りください。(平成 23 年度は 4 月、7 月、10 月、1 月の 4 回を予定)
- ※ WEB サイトへの掲載は、随時受け付けております。
- ※ 掲載費用は必要ありません。
- ※ 営利目的の割合が大きいと判断された場合等、掲載不適切と判断された場合は、掲載をご遠慮いただくことがありますので
ご了承ください。
- ※ 研修会案内の掲載、記事の投稿、ご意見、ご要望、ご感想など、下記アドレスまでメールください。

(社) 沖縄県作業療法士会 広報部 E-mail ot_kouhou@yahoo.co.jp

編集後記

7 月号より「ぬちぐすい」というテーマを掲げました。ぬちぐすいは、沖縄の言葉で「命の薬」という意味です。薬といっても病院や薬局などで購入するものとは違います。私にとってのぬちぐすいは、愛する家族です。子どもたちの笑顔は、疲れた心が癒され、身体も元気になります。このように感情が揺れ動いた時がぬちぐすいの効果です。みなさんにとってのぬちぐすいは何ですか?これは、まさに作業療法だと思います。

(社) 沖縄県作業療法士会 広報部 理事 田村浩介 (琉球リハビリテーション学院) 広報部長 久田直希 (琉球リハビリテーション学院)
広報部員 泰真実 (北中城若松病院) 原田伸吾 (ごきげんリハビリクリニック)

事務局 : (社) 沖縄県作業療法士会 〒903-0804 那覇市首里石嶺町 4-373-1 沖縄県総合福祉センター内

Tel・Fax : 098-988-3711 E-Mail : oki_ot_a_kugai@yahoo.co.jp

事務局長 : 久貝 明人 (カイアキト) 宜野湾記念病院 リハビリテーション科

〒901-2211 宜野湾市宜野湾 3-3-13 Tel : 098-893-2101 Fax : 098-892-8863

発行人 : 比嘉靖 (会長) 編集人 : 田村浩介 (広報部担当理事) 印刷 : 丸正印刷株式会社